

おののがわ

No.41

平成27年2月11日

発行：徳島県吉野川市議会



第61回「徳島駅伝」徳島新聞吉野川支局前中継所

目次	議案の審議から	2	市民のページ	15
	代表質問	5	クイズ	15
	一般質問	7	あとがき	16

の審議から

12月定例会では、条例案9件、予算案5件、専決関係案4件、請願1件
その他13件が提案され、原案どおり可決・承認・採択されました。

総務常任委員会

▼平成26年度吉野川市一般会計補正
予算について

質問

大規模災害時には避難所となる施設に、今回設置する太陽光発電設備の発電量などは。

防災対策課長

ふるさとセンターなど、4施設に設置する太陽光パネルの発電量および蓄電池の容量は550kW h（キロワットアワー）で、余剰電力は当該施設の日常の電力として利用する。



文化研修センター

文教厚生常任委員会

▼平成26年度吉野川市一般会計補正
予算について

質問

台風被害による学校関係修繕費を180万円計上しているが、通常の修繕費自体、かなり不足しているという学校現場の声がある。子ども達のために、もつと予算を計上して修繕を行うべきではないか。

学校教育課長

学校訪問の際に現場を確認し、修繕の要望があることは承知している。今後、実施できるように努力していきたい。



森山小学校

平成26年 12月議会 定例会

議案

会期：平成26年12月1日～12月19日

産業建設常任委員会

▼平成26年度吉野川市一般会計補正予算について

質問

ふるさと納税にか
かる補正予算は、
1200件の増加を見
込んで算定したのこ
とだが、その根拠は。

商工観光課長

10月以降の増加見込み
の数字であり、内訳とし
ては10月、11月分で20
0件×2か月で400
件、12月分で400件、
1月から3月の3か月で
400件、合計1200
件と試算したものであ
る。

▼市道路線の認定
について

質問

西知恵島17号線は、
新設される吉野川医療
センターへの進入路で
あり、県道板野川島線
と接続されている。交
通量が非常に多いた
め、この三叉路は、危
険になると思われるが
信号機設置の考えは。

建設部長

公安委員会は実際の交
通量が未定であるから、
開院後に実態を見てから
対応したいとの見解で
あった。通行車両の速度
もあり、危険であると認
識をしているので、今後
も公安委員会に信号機の
設置を要望していきたい。
。



三叉路

代表・一般

ここが聞きたい

質問

12月議会定例会では11名の議員が代表・一般質問を行いました。●の質問を中心に取り上げました。

代表質問

① 工藤 俊夫

●市単独の都市計画について

○湯吸谷川排水機設置について

○米飯給食について

○市防災計画の見直しについて

② 近久 善博

○行財政改革について

○学校給食費および教材費等の集金について

●麻植協同病院の要望書について

○ごみ焼却施設について

一般質問

③ 相原 一永

●セクシャルマイノリティについて

○若者の地方定住化戦略推進による地域雇用創出について

④ 川村 辰夫

○自主防災組織の取り組みについて

○少子化対策について

●いじめ問題について

⑤ 高木 純

○指定管理者制度について

●下水道料金について

○ふるさと納税について

○自治会について

○吉野川市総合計画について

⑥ 岸田 益雄

○道路橋梁の災害に対する整備状況について

●介護支援について

⑦ 阿佐 勝彦

●川田・美郷地区小学校再編準備委員会の状況について

○市役所組織内におけるネットワークについて

○道の駅建設について

○職員の士気高揚を図る施策について

⑧ 細井 英輔

●子育て支援施策について

○職員研修について

○耕作放棄地対策について

○スポーツ振興について

⑨ 増富 義明

●火葬事業の合理化について

○吉野川市生活排水基本計画の見直しについて

⑩ 岡田 光男

○農業政策について

○生活の安全対策について

●医療費適正化について

○子ども子育て支援について

⑪ 田村 修司

●認知症サポーター認定制度について

○救急隊への情報提供カードについて

○子育て支援について

平成26年12月議会定例会

代表質問



工藤俊夫
(志誠会)

線引き廃止後の市単独都市計画は

(質問)

本市の未来を決める重要なものである

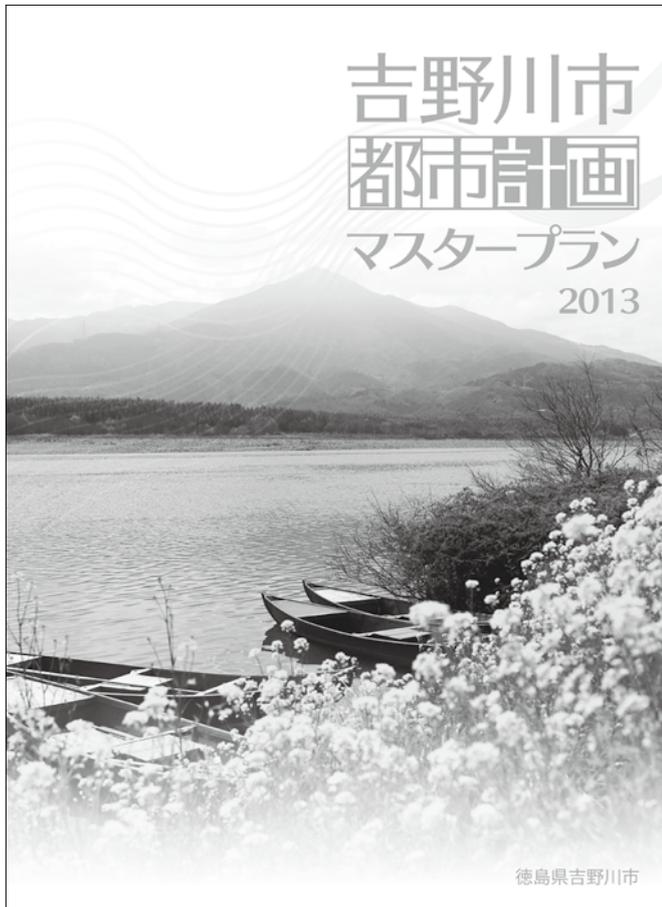
(答弁)

◎質問

都市計画の線引きは、効率的な都市環境の整備を図るため、市街地として積極的に整備する区域制度のことで、線引きの見直しは5年ごとに実施することとされている。

見直しについては、都市計画の基礎調査の結果に基づき、都市計画区域の人口、土地利用などの現状および将来の見直しを検討し、必要に応じて行うこととなっている。

本市の将来を見据えた市単独の都市計画を



吉野川市都市計画マスタープラン

具体化するため「吉野川市都市計画検討委員

会」を立ち上げ、平成26年度中に線引き制度廃止後の都市計画、土地利用計画の素案を作成し都市計画審議会に説明することのだが、どのような時期に行うのか。また、新吉野川市都市計画の工程は。

○松岡建設部長

線引き廃止後の素案については、線引き廃止に伴う個別案件の検討項目について協議が終わり、

来年1月に検討素案のとりまとめを行い完了する予定。その後、県との調整、協議を経て、素案を都市計画審議会に提出し、6月頃には説明ができると考えている。

工程については、見直し素案を取りまとめた後、県や国に対して線引き廃止に向け協議を行う予定である。また、線引きの方向性が確定すれば、県の区域マスタープランの方針が決まる。県は、四国地方整備局

◎再問

本市の百年の大計は、この市単独の都市計画が礎になると考えられる。都市計画についての考えと、都市計画策定にあたり、本市の取り組む姿勢について市長の考えは。

○川真田市長

今回の都市計画の見直しは、本市の未来を決めるほど重要なものであると考える。

また現在、独自の吉野川市都市計画を進めるにあたり、関係部局により、さまざまな問題を検討委員会で協議し、素案の作成を進めている。



ちか
ひさ
よし
ひろ
近久善博
(薫風会)

麻植協同病院分娩再開に 対する市の支援は

(質問)

来年度当初予算で前向きに 検討

(答弁)

◎質問
子育て支援を市の重要施策に掲げる本市にとって、市の中核病院である「※麻植協同病院」での分娩再開は多くの市民の願いである。
市議会としても、分娩再開の要請を行ってきた。また、今回J A 徳島厚生連から「分娩再開に向け施設整備等に対し助成をお願いしたい」との要望もあるが、市としてどのような支援策を検討しているのか。

※麻植協同病院は「J A 徳島厚生連 吉野川医療センター」として、平成27年5月11日に開院予定です。

「その他の質問」

◎質問
学校における集金方法は、公金扱いにできないのか。

◎教育次長

学校現場との協議や、行政部門の調整を行い前向きに取り組む。

◎質問

行財政改革の第1次から第2次計画の成果と、第3次計画への課題は。

◎政策監

第1次計画は職員数の削減、第2次計画では庁舎統合、幼保再編など。第3次計画は、各部署において検討中。

◎質問
ごみ焼却施設の財政負担は年間約8億円もある。市単独で行えないのか。

◎環境局長

市の負担が軽減されるよう十分調査・研究を進めたい。



建設中の吉野川医療センター



具体的な支援の内容について来年度当初予算に反映できるよう、前向きに検討したい。

平成26年12月議会定例会

一般質問



相あい原はら一かず永なが

性別違和当事者の方に対する市・学校現場の対応は

(質問)

関係各課と連携し広く問題提起していく

(答弁)

◎質問

性別違和当事者の方は、公文書中の性別欄が大きな苦痛になっている。各種申請書から、性別欄を削除し、また、性別違和の方に対する理解を深めるためにも啓発活動・職員研修をしてはどうか。さらに、学校現場において、性別違和の児童生徒への対応についての認識と取り組みは。

○工藤市民部長

性別欄削除については、いろいろな申請書・

請求書があるので、性別欄が必要か否かを各課で検討するよう要請する。

広報・啓発は、市内の各種団体・隣保館・公民館の各種講座などに働きかけて対応すると共に、市職員・各学校・保育現場などでも関係各課と連携し、取り組みを要請しながら広く問題提起していく。

○寒川教育次長

各学校で学級担任・管理職をはじめ養護教諭・スクールカウンセラーなど教職員が協力し、保護者の意向に配慮しつつ児童

児童の実情を把握した上で相談に応じ、また、関係医療機関とも連携するなど、必要に応じて児童生徒の心情に十分配慮した対応が大切だと考えている。今後、校長会などを通し研修会の実施を働きかけ、取り組みを進めていく。

◎再問

全国で年間4000件もDVなどを含む相談がある。先進地では、性別違和の方への対応として相談窓口を設置している。本市も早い段階で設置すべきと思うが。

セクシャルマイノリティの講習風景



【その他の質問】

◎質問

市が求める地域おこし協力隊の隊員像は。

○産業経済部長

自由な発想で、過疎地域での生活が楽しいと思えるような隊員を求めらる。





川村 辰夫

いじめの実態とその対応は

(質問)

学校全体で情報を共有し 組織的に対応

(答弁)

◎質問

文部科学省は10月16日、平成25年度「児童・生徒の問題行動調査」を公表した。前年度と比べると暴力行為や不登校の発生率や自殺した児童・生徒の人数が増え、その中でも特に小学校のいじめが増加している。

昨年、いじめ防止対策推進法が施行され、効果が期待されたが全国はいじめは相反する結果となっている。本市のいじめの現状と対応は。

○寒川教育次長

本市のいじめ認知件数は、平成25年度で小学校では43件、中学校では6件の計49件であり、本年度は、昨年度の同時期と比較すると減少している。

いじめに対する対応は、国・県による実態調査に加え、年3回ほど市



校庭で遊ぶ子どもたち

織的に取り組むと共に、教師の指導力を高め、いじめ問題に迅速かつ適切に対応できる資質・能力を身につけるための研修を、継続的に実施する。

「その他の質問」

◎質問

自主防災組織の活動状況は。また、防災士を養成しては。

○防災局長

11月末で39か所、訓練を実施。養成は、役員会などで制度を紹介したい。

◎質問

地域少子化対策強化交付金制度を活用するための事業計画と今後の取り組みは。

○健康福祉部理事

今後、少子化対策に繋がる有効な施策を積極的に取り組むたい。

◎再問

今後のいじめ防止対策は。

○寒川教育次長

今後、市独自の「いじめ防止基本方針」を策定し、市全体のいじめ防止対策について計画的、組



高木 純

下水道料金を統一すべきと思うが

(質問)

早期に市内統一料金が実施できよう努めたい

(答弁)

◎質問

下水道料金は、鴨島町に比べ山川・川島町が高く設定されているが、見直すべきだと思われる。

一般汚水の基本料金は、鴨島町は税込み864円だが、山川・川島町は税込み1080円。超過水量の料金は、10mを超えると1mにつき鴨島町は税込み108円なのに対し、山川・川島町は税込み162円。

1か月で鴨島町は税込み3240円に対し、山川・川島町は税込み4640円で1400円の差がある。市民からしてみれば公共下水であれ、農業集落排水であれ、特定環境保全公共下水道であれ全部下水である。しかも、農業集落排水は国土交通省管轄ではない。また、山川・川島町では、鴨島町よりも料金が高く設定されていることが原因で、下水道接続の妨げにもなっている。



川島浄化センター

水道料金は合併前に違う料金だったが、統一している。下水道も統一するべきと思うが。

○麻植水道部長

上水道事業に適用している「地方公営企業法」を下水道事業にも適用す

べきとの国の方針が示されており、適用すると民間企業との対比が容易となり、その保有資産の評価や収益性などが明らかとなることから、下水道事業運営の透明性確保や独立採算性が特に強く求められるようになる。本市としても、下水道事業

に関して、抜本的・根本的な計画変更など準備作業を進めている。

下水道料金についても、合併から10年が経過して、なお処理区ごとの実態には差があるが、計画策定後10年を目的に建設投資を終了することを目標として、それぞれの地域の実情に適応した下水処理計画への見直しをする中で、市内統一の料金体系とすることを基本として考えたい。

また、この場合、標準的な世帯の家計に過重な負担とならないことや高齢者世帯の負担を可能な限り抑制することなどを念頭に置いて、新たな料金体系をシミュレーションしながら、法適化にはおおむね3年から4年を要するとされているが、迅速に進めて可能な限り早期に市内統一料金が実現できるよう努めたい。



岸^{きし}田^だ益^{ます}雄^お

第6期計画での介護予防事業は

地域リハビリテーション活動支援事業を実施

(答弁)

(質問)

◎質問

平成27年には「団塊の世代」の人たちがすべて65歳以上となり、それに伴い認知症高齢者の増加も見込まれる。

これまでの、認知症の人が認知症行動・心理症状が発生してからの事後的な対応が主なものだが、今後は早期・事前的な対応に基本を置くものとなっている。

- ① 過去5年間の認知症高齢者の人数と今後の推移は。
- ② 認知症サポーター

の取り組みは。

- ③ 病院、地域との連携は。
- ④ 市内にあるグループホームなどの施設数と利用者数、入所待機者数は。

○辻内健康福祉部長

① 認知症高齢者数は平成22年が1834人、本年が1976人と、5年間で142人増加している。平成31年には2074人になる見込み。

② 平成19年度から認知症サポーター養成講座を開催し約1400人がサ

ポーターとなっている。

③ 在宅医療や介護提供体制の方向性、多職種連携体制の構築、在宅医療連携拠点の整備などを検討する会を市医師会が中心となり開催している。

④ グループホームは、9施設で、245名の利用、待機者は38名。

◎再問

2025年の本市の人口は、3万7393人に減少し、人口の約4割が65歳以上の高齢者で、うち約2割が認知症高齢者となり、10年後の推計値などを参考に長・中期的な視野が必要である。第6期計画での介護予防や生活習慣病予防の事業は。

また、認知症高齢者の約半数は自宅で生活し、高齢者の単独世帯や夫婦のみの世帯が増加している。認知症高齢者の受け皿が自宅外にも必要だが、施設数は不足している。家庭内介護における家族の



市内のグループホーム

負担軽減を図るためには、地域密着型サービスの充実が必要である。第6期計画での、介護保険サービスや施設の充実計画は。

○辻内健康福祉部長
予防事業としては、新たに地域リハビリテーション活動支援事業を

施したいと考えている。介護サービスの充実には、地域包括ケアシステムの構築に向け、地域支援事業の充実を図りたい。

地域密着型サービス施設の増設は、介護保険事業計画策定委員会において協議する。



阿あ
佐さ
勝かつ
彦ひこ

川田・美郷地区小学校再編の進捗状況は

(質問)

再編準備委員会を設置し順次進めている

(答弁)

◎質問

同地区の学校再編は、現在の川田中小学校の場所に統合することが表明され、再編準備委員会を設置したと聞いているが、推進の方向性はどのようになっているのか。

また、計画場所として、川田川の堤防下に位置していることから、安全面で十分な検討が必要との声がある。近年、予想もしない水害が各地で発生していることから、敷地を堤防以上に持ち上げるといったことを要望し

てきた。万一の時、子どもたちの安心・安全のための配慮はどのようなことを考えているのか。

次に、地域の方々やPTA関係者の声、提言などの情報収集や意見の集約をどのようにしていくのか。

○真野教育次長

再編推進の方向性は、本年9月に教育委員会として4小学校の再編を決定。11月18日に第1回の再編準備委員会を開催し、平成28年度には工事に取りかけられるよう進め

ていきたい。

安心・安全に対する考え方については、川田川の河川整備は完了しており、「敷地の嵩上げ」については、地元の協力が困難であり、想定外の災害が発生することも考え、堤防の決壊が発生しても、安全を確保できる高さに移動する垂直避難ができるように耐震性を有する建物にすることで、地域住民の避難場所としての役割も可能となる。地域およびPTAとの協議などについては、準備委員会に学校運営部会・地域部会・PTA部



川田中小学校グラウンド

会の3つの専門部会を設置し検討してもらうこととしている。

【その他の質問】

◎質問

市役所組織内に突発的事案に対する対応マニュアルは。

○総務部長

必要性については、今後検討する。

◎質問

道の駅建設についてのプロジェクトチームを結成しては。

○産業経済部長

現状では難しい。

◎質問

職員数の減少などで職員の士気が下がらないよう士気高揚を図る施策は。

○総務部長

会議などを重視し、下からも上からも情報発信や協議ができる仕組み作りを検討。



細井英輔
ほそい えいすけ

鴨島東地区の認定こども園の 早期実施を

(質問)

早い時期に整備できるように 努力する

(答弁)

◎質問

平成27年4月に「子ども・子育て支援新制度」が実施される。新制度に向け、どのように進めるのか。

育所申し込みに向けて、保護者と民間事業者に内容の周知や説明を行ってきた。

◎再問

鴨島東保育所は、築40年以上も経ち、台風時には水に浸かる保育所である。

幼保再編構想で鴨島東部地区における計画は、牛島・上浦・森山各幼稚園と鴨島東保育所を統合し、認定こども園を開設する計画だがその進捗状況は。



鴨島東保育所

◎増富健康福祉部理事

「吉野川市子ども子育て会議」において、子育て支援事業計画の策定や、市で制定する「施設、事業の認可基準」などについて審議している。

また、新制度の移行に伴い、保育所などの利用手続きなどが大きく変わることから、来年度の保

◎増富健康福祉部理事

鴨島東部地区の認定こども園整備は現施設の状態や地域の実情から、整備の必要性は十分認識している。

今後、開設時期や設置場所などの具体的な検討を行いたい。

◎再々問

市にとって有利な合併特例債の期限が平成31年で終わる。

平成30年4月には、川田中小学校の敷地に認定こども園と小学校が開設する。

鴨島東部地区においても、認定こども園計画・開設を来年度から実施できないのか。

◎川真田市長

早い時期に整備できるように努力したい。

「その他の質問」

◎質問

全幼稚園で預かり保育を実施できないのか。

◎教育長

子育て支援の充実に向け、努力したい。

◎質問

川島こども園で新人職員研修を実施できないのか。

◎総務部次長

来年度実施に向け、検討したい。

◎質問

子どもの通学路に隣接する耕作放棄地対策は。

◎教育次長

現状を把握し、対策を検討する。

◎質問

全国大会に出場する選手・チームの出場懸垂幕を設置できないのか。

◎教育次長

懸垂幕による顕彰が行えるよう庁内で調整する。





増富義明

火葬事業を合理化しては

(質問)

一部事務組合の中で議論し 進めていく

(答弁)

◎質問

一部事務組合は単独で実施困難な事業や、スケールメリットの発揮による事務の効率化により、高度な行政サービスを提供できるというメリットがあるが、そのメリットも薄れつつある。そのような中、本市には2か所の火葬場があることにより、それぞれの使用料の違いが生じたり、維持管理費の差など、合併して10年経過した今、早急に考え直さなければならぬと思われる。

両斎場の協力関係も保ちつつ話し合いを進めていく必要がある。

◎再問

数年前に川島町の国道から徳島鴨島線が通なり、川島町の住民にとっては吉野川市斎場の方がより便利になると思われるが。

◎武田環境局長

今後、十分調査研究し、組合の中で議論しながら進めていきたい。

◎再々問

吉野川市斎場の負担金の根拠と、両火葬場での使用料がまちまちな事について、どのように考えているのか。

◎武田環境局長

吉野川市斎場を利用しての負担金の考え方については、鴨島町時代より建設費用を含めた1体あたりの火葬料金を算出し、年間利用体数分の負担金を、土成町・吉野町・上板町の3町に割り

振っていた。現在は、新炉増設費および大規模修繕などを見込んだ1体あたり8万円の使用料となっている。

現在使用料金は鴨島町・美郷が1万5000円で山川町・川島町が8万円となっており、使用料金については、統一が望ましいと考えており、今後、斎場の見直しに合わせ総合的に検討する。

[その他の質問]

◎質問

阿北環境整備組合(し尿処理)での正確なトラックスケールの数値を把握しては。

◎環境局長

適正に把握していると考えている。今後の方向性を定め、生活排水基本計画に反映したい。

鴨島町・美郷

15,000円

65,000円

川島町・山川町

80,000円

20,000円



吉野川市斎場(鴨島町) 13歳以上



阿北火葬場(市場町) 12歳以上

火葬料金表



岡田光男
おが だ みつ お

ジェネリック医薬品使用の 取り組みは

(質問)

差額通知を出し、喚起を 促している

(答弁)

◎質問

呉市では国保加入で医療費削減対象者の7割がジェネリック医薬品に切り替えているが、本市ではどのような取り組みをしているのか、またどの程度の医療費削減効果があるのか。

◎工藤市民部長

平成21年度にジェネリック医薬品希望カードを添付した「国保のしおり」を国保加入全世帯に配布し、22・23年度は体調チェック機能付きのジェネリック医薬品希望

◎再問

ジェネリック医薬品の普及率を厚生労働省は平成30年3月末までに60%以上にするという目標を立てているが、本市は35%で今後どのようにして普及率を上げていくのか。

◎工藤市民部長

ジェネリック医薬品の使用促進は、国による診療報酬の改定、メーカーによる品質の向上や安定供給への努力、また地域の実情に応じた関係者への意識啓発、認識の共有化などを行っていく取り組みなどがそれぞれ影響し合っており、普及率が向上するものと考えている。医療保険財政が厳しい中、他地域の取り組み事例も参考にしながら今後も検討していきたい。

「その他の質問」

◎質問

米価暴落で市の対策は。

◎産業経済部次長

非主食用米への転換できる環境整備など、JA麻植郡と共に対策を考えたい。

◎質問

下水が普及し、生活排水を流さない側溝の清掃は市が計画的にすべきでないか。

◎建設部次長

今後も地域の方々に協力を得たい。

◎質問

子ども子育て支援で、実費徴収に係る補足給付を行う事業の取り組みは。

◎健康福祉部理事

正確な情報などを把握したうえで、調査・検討を行い、実施の可否を決定したい。



医療従事者様

ジェネリック医薬品を 希望します

- ・治療に支障がなければジェネリック医薬品（後発医薬品）の処方をお願いします。
- ・カードは保険証などといっしょにご返却ください。

氏名

ジェネリック医薬品希望カード





田村修司

小中学生を認知症サポーターに養成しては

(質問)

関係部局と連携し周知に努める

(答弁)

◎質問

現在、65歳以上で認知症の人は推計462万人といわれている。そして、軽度の人も含めると高齢者の4人に1人が認知症またはその予備軍とされ、増加する認知症高齢者への対応が課題となっている。

認知症高齢者を家族だけでみるのは困難であり、地域ぐるみで見守り、支え合う態勢を構築しなければ、悲劇は起きる一方になる。認知症になっても安心して暮らせるまちづ

◎再問

くりをめざして、「認知症サポーター」を養成する厚生労働省の「認知症サポーターキャラバン」事業が全国で実施されている。「認知症サポーター」とは、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り、支援する応援者のことである。本市の全職員・教員・社協職員、そしてすべての小中学生に認知症サポーターになってもらうてはどうか。



認知症サポーターによる講習

◎辻内健康福祉部長

来年早々にも職員研修の一環として実施し、また、来年の2月には市民を対象とした講座を開く。

◎再問

市職員に各地区ごとの担当を設定し、担当者がキャラバンメイト

の資格を取得して講座を実施しては。

◎辻内健康福祉部長

現在14名のキャラバンメイトが講座を行っている。

◎再々問

教員・小中学生には

どのような対応をするのか。

◎石川教育長

中学生に対しては「吉野川市介護基礎研修」を実施し、今後は関係部局と連携し、家族で参加できるような機会があればその周知に努める。

【その他の質問】

◎質問

救急隊への情報提供カードを要支援者や要介護者にも配布しては。

◎健康福祉部長

配布先拡大を視野に入れ検討したい。

◎質問

低所得者の保育料を無料化にしては。

◎健康福祉部長

保育料の軽減策を検討したい。

公共施設等へのLPガス設備の導入に関する請願書

●紹介議員：枝澤幹太 賛成多数で採択

※請願に賛成は「○」、反対は「×」、退席は「-」、欠席は「欠」で表示

	塩田智子	岸田益雄	原田由一	阿佐勝彦	細井英輔	河野利英	岸田秀樹	藤原一正	枝澤幹太	近久善博	川村辰夫	田村修司	高木純	相原一永	福岡正	栗原五男	工藤俊夫	増富義明	北川麦	岡田光男	審議結果
公共施設等へのLPガス設備の導入に関する請願書	○	-	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	議長	×	○	○	○	採択

請願書

市民のページ

「人権に配慮したルールづくりを」

鴨島町 川人 新一

吉野川市では現在、地区ごとに人権問題に取り組んでいる。一口に人権といっても様々だが、信教の自由もまた憲法(二十条)で保障された大切な人権の一つである。

私は、ある既成仏教を信仰している。鎌倉時代にはじまり、歴代の信者には徳川家康の曾孫や、将軍の正室が複数いるという由緒正しい宗旨である。

この宗旨の特徴は、他宗教との「二股」を一切認めないことである。例えば、神社や他宗寺院での参拝・布施はできない。当然、他の宗教活動に加担する行為も厳禁である。私自身は、唯一絶対の真理を説く宗教であれば、これが本当の姿だと思っている。

さて、先日、自治会の班長をしている私に会長より、神社の行事案内の配布依頼があった。私は、氏子総代の御宅に向向き、宗教上の理由により配布できない旨説明したところ、「強制ではない」と承知して下さった。一件落着で事なきを得たの

だが、このときふと、一つの疑問をもった。町内の有力者がわざわざ自宅まで配布物を持参してきたらどうか。気の弱い人なら断りきれないのではないか。断れば、代わりに配布する誰かに迷惑がかかるという負目もある。

似たような話は他にもある。私の職場では以前、昼休みに女性従業員がお茶汲みをする習慣があった。これなども「強制ではない」が、断りにくいし、断れば代わりをしてくれる誰かに迷惑がかかる。

こう考えると「強制ではない」というのは、本来あるべき自由とは異なることが分かる。本当に自由なら、気まずい思いをして断るといった精神的負担を強いられるべきでない。

昔からの慣習であっても、人権尊重の視点から見直してみるべきではないか。もし、少数者や弱者への配慮を欠いた、一方的な価値観の押し付けが少しでもあれば、慣習を改める勇氣と努力が必要だと思う。

クイズ



野菜の名前です。
漢字をカタカナに直してください。

- ① 玉蜀黍
- ② 甘藍
- ③ 胡瓜
- ④ 牛蒡
- ⑤ 葱
- ⑥ 紫蘇
- ⑦ 青梗菜
- ⑧ 韭

◎ 正解者の中から抽選で10名様に吉野川市ブランド認証品を進呈します。

◎ 応募要項 はがき、またはFAXに答えて

郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、
議会事務局へお送りください。

応募の際に「チョットひと言」添えてみませんか。

◎ 送り返す 〒776-8611 吉野川市鴨島町鴨島115番地1

TEL(0883)22-2241

FAX(0883)22-2242

◎ 締切日 平成27年3月31日(消印有効)

チョットひと言

☆吉野川市のハーフマラソンが楽しみです。(鴨島町 木村さま)
☆孫をつれて上桜公園に行ってきました。すべり台を気に入ってすべっていました。(川島町 西村さま)

☆今年定年後、カルチャースクールにはげみ、自分のスキルアップに励んでいます。(鴨島町 林さま)

◎ (前回の回答)

- ① サイ
- ② イルカ
- ③ ラクダ
- ④ コアラ
- ⑤ リス
- ⑥ トナカイ
- ⑦ ロバ
- ⑧ ナマケモノ

【応募総数】60通

募 集 要 項

表紙の写真

募 集



テ ー マ 吉野川市で撮影した
季節の風景や祭り、行事など。

規 定 モノクロおよびカラープリント
2L判～四切・W四切組
写真も可(3点まで)
住所・氏名・電話番号・題名を明記。

締め切り 平成27年3月31日(消印有効)
発行は5月です。季節感のあるものをお願いします。

そ の 他 作品の返却は行いません。採用された作品の使用およびトリミングなど加工については、吉野川市議会広報特別委員会に帰属することをご了承ください。

応 募 先 〒776-8611
吉野川市鴨島町鴨島115番地1
TEL (0883) 22-2241
FAX (0883) 22-2242

市民の皆さんの声を掲載

市政についての苦言やアイデア、趣味や人生観など多岐に渡って文章を募集します。フアックスでも結構です。

： 規 定 ：

- 400字詰原稿用紙2枚以内
- 住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記
- 締め切り
平成27年3月31日(消印有効)

* 投稿多数で掲載できない場合は、ご容赦ください。校正などは、吉野川市議会広報特別委員会で行います。

： あ て 先 ：
〒776-8611
吉野川市鴨島町鴨島115番地1
TEL(0883)22-2241
FAX(0883)22-2242



あとがき

この議会だよりが皆さんの手元に届くころ、美郷では梅の花がほころび始め、梅の花まつりが開催されます。

そこかしこに咲き乱れる梅の花の愛らしさは、本市の自慢の一つ。期間中、梅の花見ウォークや写真コンテストが開催され、早春の山里が賑わいを見せます。

梅の次には桜、シバザクラ、つつじ、さまざまな花が私たちを楽しませてくれます。さらに、ホタルに鮎、秋には菊や山々の見事な紅葉…。改めて考えてみると、本市には地域の宝がたくさんあります。

そして2月といえば、いよいよ受験シーズンの到来です。学駅のお守りを胸に、受験生の皆さんにはしっかりと合格を勝ち取ってほしいと思います。頑張れ！受験生！



委員長 岡田 光男
副委員長 岸田 益雄
委員 塩田 智子
阿佐 勝彦
細井 英輔
田村 修司

編集委員 田村 修司